

研究機関：広島大学

研究課題名 皮膚疾患における炎症細胞、および関連タンパク質発現の解析

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 准教授 田中暁生

研究期間 2019年12月17日(倫理委員会承認後)～2026年12月31日

対象者

2015年1月1日～2024年12月末日の間に、広島大学病院皮膚科で皮膚生検や皮膚腫瘍摘出術による治療を受けた成人患者さん

意義・目的

種々の皮膚疾患において、皮膚の中に現れる細胞や増加する分子には違いがあります。これらの違いを調べ疾患ごとの特徴を解明することで、診断のマーカーになること、新たな治療のターゲットになることが期待できます。

方法

本研究は、患者さんの皮膚の組織を用います。診断・治療のために採取された皮膚組織を用いた上で、研究のために新たに皮膚生検を行うことはありません。ただし、年齢、性別、疾患名を